



vol.41

足と靴の相談室エルデ
〒161-0031
東京都新宿区西落合3-20-9
Tel.&Fax. 03-3954-3636
URL: <http://www.erde.jp>
E-mail: office@erde.jp

ERDE Zeitung

エルデが提供する靴は、 すべて国産のオリジナル製品になりました

私たちが、整形外科靴マイスターのカールハインツ・ショットさんからドイツ整形外科靴技術を学び始めてから15年以上がたちました。

私たちは、技術を身に付け始めた当初より、この技術が本当に日本に根付くには単に技術者が養成されるだけではなく、日本人の足や脚の障害・疾患へ対処するために必要な、種々の機能性を有したメディカルな靴や素材が十全に供給されるようにならなければ難しいと考えていました。

もともと日本にはなかった技術ですから、その技術を生かすための素材も当然日本にはありません。すべてドイツからの輸入に頼らなければならない中では、種類に限られるだけではなく、いつでも入手できるわけでもないため、症状への対処が不充分になったり、余分な手間が必要になったりと、せっかく身に付けた技術を十分に活かしきるのが難しいのが実情でした。

そのため私たちは、ショットさんから学んだ技術を日本に普及するためのNPO法人靴総合技術研究所を2003年に立ち上げ、技術者の養成を行なう一方で、ドイツからの輸入に頼らず「日本人のための靴は日本で入手できる体制作り」に向けた試行をも繰り返してきました。

そして、この技術の普及にとっての第一歩ともいえる日本人標準のフットベッドの独自開発から始まった私たちの歩みは、各方面の方々のご協力を得ることによって、各種の機能を備えた多様な靴の開発・生産へと進み、ついに10年にして、これらのほとんどの供給が日本国内で行なえるところまで至りました。

もちろん、個々の加工用部材等、例えば毒性の少ない有機溶剤の接着剤のように、ドイツからのすぐれた輸入品もありますから、今後ともそれらを活用するのは当然ですが、少なくとも私たちが日常的に必要な、多様な症状に対応できるメディカルな靴をはじめとした基本的な素材が、国内で供給されることになったのです。

さらに現在、すでに実現している多様なメディカルな靴の生産に加え、このかん試行錯誤が続けられていた個人の人のために個別対応が必要な特殊な靴の供給に関しても、より簡便にできる体制作りがソフトとハードの両面から進められています。

やっとのことで、ドイツ整形外科靴技術を身に付けた人たちが、それぞれの実情に見合っ必要となる自分の技術を生かすための素材を、国内で調達できる基盤が形成され始めたといえそうです。

機能とデザインで選び、リウマチや麻痺等の多様な症状に応じてカスタマイズが可能なメディカル仕様
(この写真は一部のものです)



メディカルな多様な中敷を装着できる
Anatomical Foot Wear



カスタマイズも可能なパンプス

